

精神科神経科に通院中の患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 肺血栓塞栓症／深部静脈血栓症と身体拘束の実態に関する後ろ向き調査

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 秋田 弘俊

[研究責任者名・所属] 久住 一郎 (精神科神経科・教授)

[研究代表機関名・研究代表者名・所属]

国立精神・神経医療研究センター・第一精神診療部第二精神科医長 野田 隆政

[共同研究機関名・研究責任者名]

日本総合病院精神医学会治療戦略検討委員会静脈血栓塞栓症予防指針改訂班

班長：中村満 (成増厚生病院)

岸泰宏 (日本医科大学武蔵小杉病院)

谷口豪 (東京大学)

西村勝治 (東京女子医科大学)

野田隆政 (国立精神・神経医療研究センター)

八田耕太郎 (順天堂大学医学部附属練馬病院)

渡邊敬文 (成増厚生病院)

[研究の目的]

現在の精神科医療現場における肺血栓塞栓症／深部静脈血栓症の予防の実態と発生の状況について、基礎的な資料を作成するため。

[研究の方法]

医療機関向けのアンケート調査を行います。全国の精神病床をもつ242の一般病院精神科(日本総合病院精神医学会会員病院)を対象とし、2018年4月1日～2019年3月31日の間に肺血栓塞栓症／深部静脈血栓症を発症した入院事例について、以下のカルテ情報を収集します。

○利用するカルテ情報

利用させていただくカルテ情報は下記です。

年齢、性別、肺血栓塞栓症・深部静脈血栓の有無、血栓の発生部位、転帰、発見時の

D-dimer の値、下肢エコー所見、胸部（造影）CT 所見、肺血栓塞栓症・深部静脈血栓発生前に存在したリスク、身体拘束の有無・部位・継続時間、鎮静の有無と継続時間、実施していた予防法

上記のカルテ情報は、国立精神・神経医療研究センター病院に電子的配信で送付します。

[研究実施期間] 実施許可日～2021年3月31日までです。

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院精神科神経科 担当医師 成田 尚

TEL 011-706-5160 FAX011-706-5081